

いっぽだより



2019年度 No. 3

はじめのいっぽ弥生

2019年6月13日

ごあいさつ

5月末、38.8℃の猛暑日!! (佐呂間町は、39.5℃) 全国一になれなかった!! と、複雑な心境でしたが皆様は、体調を崩されておられませんか?

子どもたちは、あの暑い日が続く中、運動会の練習・・・いつも明るくリーダー的な小6の男の子が、部屋の隅っこで膝を抱え言葉少なくしている姿に様々なプレッシャーを抱えているなあと、見守っていましたが運動会の翌日、大きな行事を乗り越え顔の表情も明るく達成感でいっぱい姿に安堵しました。

また、小学一年生の女の子「2等賞だったの・・・」と残念そうに話す姿に「すごいねえ・・・自分の力を出し切ることが大事なんだよ」と励ますと同時に、運動会はそれぞれの家族のドラマがあり一生忘れられない記憶が蘇るひとときと実感しております。

代表 石橋 わか子



プールと日陰が最高の
ごちそうの日でした。



どんなに暑くても川の水は
冷たくて気持ちいいね!



中学校と小学校の運動会の違
いを話すお友達。

今後の予定

日 時	行 事
6月17日(月)	定例会議
6月18日(火)	支援会議
6月20日(木)	親子でいっぽ(未就学児)
6月22日(土)	いっぽ食堂
6月28日(金)	音楽遊び・リトミック(未就学児)
7月 4日(木)	紺矢氏・オステオパシー

※ 随時個別面談を行いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

小・中学生編

料理研究家・辰巳芳子さんの大豆100粒運動に賛同し、はじめのいっぽも毎年一人=3粒の大豆を植えております。



1、みんなで協力し・・・



2、自分で植えた種に責任を持ち・・・



3、成長を思い・・・



4、収穫を待つ!!



毎年繰り返すことにより今では体が自然に動きます。

過去には、全国より選り抜かれた絵画部門で、特別賞を受賞したお友達もあり、日々の観察で絵を描いたり、収穫し数の概念を学んだり数えきれない程のドラマがありました。

今年も5月中旬に一人3粒の大豆をまき農薬を使わなくても**自然の光・雨・大地**の恵みで、すくすく育とうとしている生命力溢れる苗に 同じ条件で植えた大豆もやっと出てきた芽、たくましく成長する苗・・・いろいろな姿や格好があり

“みんなちがってみんないい”

金子みすずさんの「私と小鳥と鈴と」の詩を思い出し、より一層愛おしく感じられる日々です。

いっぽ広場には、キュウリ・ミニトマト・イチゴ・りんご・梨・プルーン・ラズベリー・・・他大地の恵みで溢れております。みんなで収穫をたのしもうネ!!

その他に、岩内の畑ではジャガイモととうきびの種まきも終わり働いた後の爽快感を満喫してました。



1、種をまき・・・



2、水をやり・・・



3、草りを採して・・・



4、喜びを感じる!!



岩内の帰り 筏で遊ぶ・・・

みんなで育ち合おう



「お花に水をあげよう!! 一人では重たいよ～」
お友達がさりげなくお手伝い。素敵だね!!



野球のことは、僕にまかせて!!
自然体に、先輩より後輩へ受け継がれ
いっば野球部は、見事に上達しています。



今年も豊かな自然の中、山菜採りに行
ってきました。食べるまでには手間暇
かけ、手指操作を巧みに動かすこと
により「食べ物は生きている!!」と実感
でき感性が豊かになります。



情操教育の一環として
動物とのふれ合いも
大切にしています。

僕も仲間
になりたいなあ～



何事も挑戦!!



お友達と伝え教え合い楽しんではいませう。
帰りの会では伴奏もしてくれますよ。

午前 幼児さんの一日



いっぽ広場では、たっぷりの地下水を使い 泥んこ遊びに、水遊び・・・「動の活動」を楽しみ、室内では制作や粘土など・・・「静の活動」と バランスを考えながら心も体も発散することを大切にしています。



「雨降りには、カッパを着て出かけよう!!」

♪あめあめふれふれ・・・♪と雨の音も音楽に聞こえるね。外気に触れた後の食事への集中力も抜群です。



京都と帯広を行き来しているオステオパシー（西洋では医療としての国家資格）の、紺矢先生に施術して頂きました。なんとその日のうちに効果も出た!!と、嬉しい言葉もありました。（詳しくは、親子でいっぽにて）

お知らせ

はじめのいっぽも開所して8年目を迎えました。開所当時より“誰もが平等に地域で安心して暮らせるように・・・を理念に、今日まで子ども支援事業を展開してきました。

今後は地域のニーズに合わせ、子どもたちと高齢者との交流を視野に入れ、新規事業設立へ向け検討中です。2月の理事会・5月の定期総会で人事確保を条件に承認され、現在に至っております。

新人さん紹介します。



社会福祉法人にて、高齢者の相談員として働いていた、社会福祉士の石橋卓弥氏が仲間入りいたしましたのでご報告いたします。

国立大学農学部卒業後、自ら福祉の道を歩みだし10数年が過ぎ、高齢者も子どもたちも共存できる社会を目指し、日々切磋琢磨しております。今後ともよろしくお願いいたします。

今までありがとう。

鹿児島からご主人の転勤により帯広へ住み、縁ありいっぽの子どもたちを見守り続けてくれた中屋真莉子先生が、出産とご主人の転勤により6月いっばいで退職する事になりましたことお知らせします。
長い間、ありがとうございました。



真莉子先生より

あっという間の1年3か月でした。いっぽの子ども達はみんな素直で優しくて、いっぽに来ると元気を貰うことができ、助けられたことも多かったです。療育の中でも北海道やいっぽならではの経験を多くさせて頂いたことで、非常に良い財産になり、いっぽで働くことが出来て本当に良かったと思っています。そしていっぽのことはもちろん、北海道、帯広のことが大好きになりました。遠くからではありますが、これからもいっぽの応援団として子ども達の成長を楽しみにしています。大変お世話になりました。

その他

バーベキューパーティ近し!!

みんなで和気あいあい たのしもうネ!!

6月22日(土)11:00～

(折りたたみ椅子のある方は、持参してくださいね。)